
紅い糸

渡鍋 直人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

紅い糸

【Nコード】

N6643P

【作者名】

渡鍋 直人

【あらすじ】

紅い糸で結ばれた、あるカップルの話。

ぬるいですが残酷な描写があるかもしれません

ボロボロの服からのぞく手

手の中にあつたのは銀色に光る刃

刃から流れていく赤い滴

滴の下にある仰向けの女

女の腹からにじみ出る紅の液体

液体の先にあるのは誰かがうつつた鏡

鏡にうつつたのは……

ああ、わかってたのに。知ってたのに。

それをその事実を確認するのが怖かった。

女を殺したのは、大切な彼女を殺したのは

まぎれもなくこの俺だ

鏡を割ってみてもナイフを折ってみても

自らの真つ赤な掌が全てを語っていた。

君を抱きしめたこの腕は今は醜い赤色にうめられている。

それは絵具などではなく、鉄の匂いがしていた。

大声で泣いた泣いた泣いた

けれど彼女の目は俺を見ていない

瞼は閉じられたまま開かれることはないだろう。

知っているからこそつらかった。

死ぬのは、本当は俺だったのに

(後書き)

以前ブログに載せたもの。

内容は自殺しようとしていた男を彼女が止めに行く

そして誤って彼女を刺殺してしまうような。

こんな重いのを誕生日の前日に書いた俺はなんなんですかね(汗

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6643p/>

紅い糸

2010年12月31日07時26分発行